

第39期 中間株主通信

2021年8月1日～2022年1月31日

証券コード:3172

株主の皆様にはティーライフの「今」をお伝えします



株主の皆様へ

2012年3月のJASDAQ上場に始まり東証一部上場までおかげさまで上場10周年を迎える事ができました。これもひとえに、株主の皆様をはじめ、お客様、お取引先様など多くの関係各位のご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。2022年7月期第2四半期のティーライフグループの連結売上高は64億円となり、前年同期比で8億円の増収となりました。卸売事業でのTVショッピング向け販売やプロパティ事業での賃貸売り上げの向上等が主な要因でございます。コロナ感染の拡大、石油はじめ原材料の高騰の影響でお客様の生活防衛意識が高まっています。とりまく環境は厳しさを増すと思いますが、全社一丸となり目標に向け取り組んでまいります。通期の業績見通しは、過去最高の連結売上高119億円、経常利益9億円を見込んでおり、通期の配当見通しについては、1株あたり52円を見込んでおります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援の程、宜しく願い申し上げます。



代表取締役社長
西上 節也

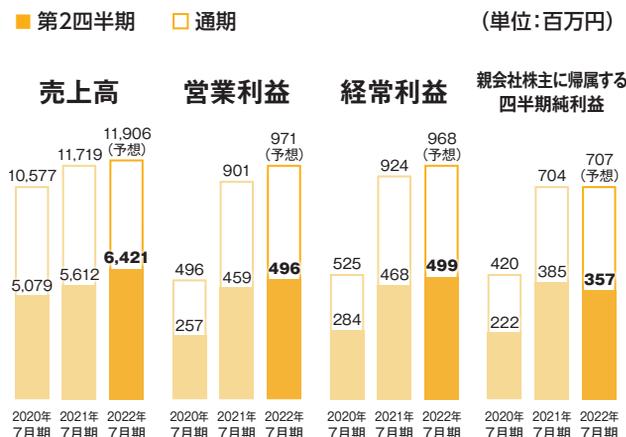
1963年生 大阪府出身
2019年 1月 ティーライフ入社
2019年10月 取締役副社長就任
2020年 8月 代表取締役社長就任

第39期(2022年7月期)第2四半期連結決算の業績ハイライト



セグメント区分	事業内容	主たる会社
小売事業	主に健康茶、健康食品、化粧品、ヘビー用品、キッズ家具を一般消費者に通信販売	ティーライフ株式会社、株式会社Lifeit、特兼美(上海)貿易有限公司
卸売事業	主に食品、生活雑貨を通信販売会社や小売店等に販売	株式会社アベックス、株式会社ダイカイ
プロパティ事業	主に自社不動産を活用した不動産賃貸、出荷業務の受託	ティーライフ株式会社

※売上高については、セグメント間取引の調整後の数値であり、セグメント利益については、セグメント間取引の調整前の数値であります。



ティーライフ 新商品紹介

機能性表示食品「トリプルメタガード」

女性が抱える悩みにアプローチ

新型コロナ感染拡大をきっかけに自宅にいる時間が増えたことで運動する機会が減り、お腹周りや体重の増加、便秘が気になっている女性が増えています。そんな中、お茶の通販を38年以上展開してきたティーライフ株式会社では、緑茶から抽出される機能性関与成分である“ガレート型カテキン”を配合したサプリメント「トリプルメタガード」の販売を開始しました。

トリプルメタガードに配合されているガレート型カテキンには【肥満気味の方のお腹まわりの脂肪(内臓脂肪、皮下脂肪)を低下させ、体重の減少をサポートし、高めのBMIを低下させる機能】があることが報告されています。さらに【日常生活時のエネルギー代謝において、脂肪を消費しやすくする機能】が報告されている“ブラックジンジャー由来ポリメトキシフラボン”、【生きて腸まで届き、便秘を改善する機能】がある“有胞性子乳酸菌(Bacillus coagulans SANK70258)1億個”といった3つの機能性関与成分を配合し、多くの女性が抱える悩みにアプローチできるサプリメントとなりました。



詳細は商品ページを
ご確認ください▶



機能性表示食品「メタ褒め茶プラス」

おいしさそのまま! 機能性関与成分配合

メタボメ茶でお馴染みの4つの素材(プーアル茶、黒豆、ウーロン茶、杜仲葉)に「糖の吸収を抑え、食後の血糖値の上昇をゆるやかにする機能が報告されている」サラシア由来サラシノールをプラスしました。メタボメ茶の味わいや風味はそのままに、おいしくお召し上がりいただくことができます。どんなお食事にもびったりなお茶ですので、適度な運動も取り入れながら、お召し上がりいただくことでお客様の健康的な毎日を応援してくれるおすすめ商品です。

詳細は商品ページを
ご確認ください▶



メタボメ茶のおいしさそのまま!
“メタ褒めブレンド”に機能性関与成分をプラス

4つの健康茶ブレンド

プーアル茶 健康に嬉しい、喉舒筋、美肌、脂肪燃焼に効果的な成分を多く含む。ティーライフ独自のブレンドで、健康効果の向上に貢献しています。	黒豆 糖質吸収率を抑える働きがあり、血糖値の上昇を抑える効果があります。
ウーロン茶 スッキリとした喉ごしが、健康的な飲み物です。健康効果の向上に貢献しています。	杜仲葉 トクソウの木の葉を原料として、中国、東南アジアに多く産出されています。健康効果の向上に貢献しています。

+

機能性関与成分 **サラシア由来サラシノール**
サラシアは、インドやスリランカなどの熱帯地域に広く分布している植物。その特有の成分サラシノールは「糖の吸収を抑え、食後の血糖値の上昇をゆるやかにする機能」が報告されています。



セグメント別概況

小売事業

健康茶、健康食品、化粧品、ウィッグ、インテリア、雑貨等の通信販売

売上高

2,851百万円

前年同期比△313百万円

コロナの反動減による影響に加え、顧客開拓が低調に推移し、売上が伸び悩んだ。下期は新商品の投入とデジタルシフトに注力し、売上拡大を図る。

セグメント損失

1百万円

前年同期比△137百万円

売上減に伴う売上総利益の減少、広告宣伝費の効率悪化。下期はデジタルシフトによる販管費の効率改善を進めるとともに新たな物流機器の活用により出荷コストの圧縮を図る。

上期に販売を開始した新商品等



「hugm (ハグム) スキンケア」(2021年12月発売)



「Tea Bloom (ティーブルーム)」(2021年12月発売)



ティーライフ
ショッピングサイトは
こちら

●子育て主婦層の新規獲得を目指す

インフルエンサーや人気生活情報誌とのタイアップ企画により、お茶のある生活 (Tea Life) の魅力を発信していくことで、ブランド価値向上に努めていくとともに、今まで認知が低かった子育て主婦層の新規獲得に繋げてまいります。



▲インフルエンサーを活用した
施策を展開

●エビデンスのある新商品を軸に売上拡大を図る

下期の新商品として「トリプルメタガード」「メタ褒め茶プラス」の機能性表示食品2商品を販売いたします。お客様が抱える健康悩みの対策にアプローチした最注目の商品です。機能性関与成分配合により、エビデンスを持った新商品を新たな主力商品として育成していきます。(詳細は「ティーライフ新商品紹介」を参照)



▲トリプルメタガード

▲メタ褒め茶
プラス

●natuwig+ (ナチュウィッグプラス) の販売拡大

2021年12月から発売を開始したナチュウィッグプラスは、美容業界で注目を集めるカリスマ美容師「川畑タケル氏」とのコラボで実現した新しい医療用ウィッグです。「闘病している方の力になりたい」との想いから、自然に見え、生え際やつむじ等、細部までこだわっており、ファッション性にも優れているのが特徴です。今後も様々な分野のスペシャリストとのコラボレーションを通してウィッグの可能性を広げてまいります。



▲ファッション性にも優れた
医療用ウィッグ

●EC立ち上げのコンサルサポートを拡大

家具等のECモールを運営するLifeitでは、20年来的楽天ショップ運営ノウハウを詰め込んだ楽天市場web分析ツール「EC-タスキー」の提供を新たに開始いたしました。分析の効率化を手助けし、他社EC運営会社様のお困りごとを解決するソリューション提案を拡大していきます。



▲楽天市場web分析ツール
「EC-タスキー」

セグメント別概況

卸売事業

通信販売会社向けの卸売、
天然素材を使用した生活雑貨等の卸売

売上高

3,284百万円

前年同期比+1,096百万円

TVショッピングでのサプリメント販売が大きく伸長

セグメント利益

352百万円

前年同期比+150百万円

TVショッピングでの販売拡大に伴う増益

●空間プロデュース提案を拡大

サステナブル先進国の北欧ブランドのインテリアを身近な生活雑貨として、日本国内に紹介していきます。また、日本での地産地消を目指したインテリアの開発を展開していきます。

具体的には、アベックスの所在地である群馬県の木材、廃材を利用した商品開発等を行政と連携しながら進めております。



▲新規取扱ブランド「WOOD(ウッド)」

●主力のコポーシリーズを拡充

リラックス&サポートアイテムを中心に販売を推進しています。天然素材好きにも喜ばれるフェイク素材が人気の洗えるカゴや主力であるコポーシリーズの生誕祭向けアイテム等の拡充を進めていきます。



▲フェイク素材やメッシュ素材が人気

カエルの
コポーシリーズ▶



TOPICS

TVショッピング向け販売が絶好調

ビューティーアイテム、サプリメントの売上が好調です。サプリメントは、J'sKami高麗やAVEC J.INJUUV (インジュヴ) を軸に、世の中の健康志向や巣籠り消費を反映し、大きく売上を伸ばしました。ビューティーアイテムは、新商品の開発が進んでおり、フェイスからボディ、ヘアケアに至るまで、トータルで美を追求するアイテムを開発強化しています。



アベックス
オンラインストアは
こちら



▲ビューティーアイテム(J.AVECTOI)



▲サプリメント(J'sKami高麗)



▲健康食品(ZEN49ダイエット禅食)

セグメント別概況

プロパティ事業

自社物流センターを活用した不動産賃貸、
3PL（物流代行サービス）

売上高

285百万円

前年同期比+26百万円

賃貸稼働率の向上、3PLの受託量拡大に取り組み成長

セグメント利益

138百万円

前年同期比+25百万円

3PLのオペレーション見直し等により収益性改善

●将来に向けたインフラ整備を進める

3PLの拡大に向けて、新たな自動機器の導入を開始いたしました。今後も状況を見て、段階的に設備投資を実施していきます。3PLについては、EC制作やコールセンター代行等も含めたグループリソースを活かした3PL提案を実施していくことで、グループ全体の事業拡大を目指していきます。また、2022年3月現在、ティーライフグループが保有する2つの倉庫がおおむね満床状態であることから、新規倉庫獲得のための営業活動も引き続き進めてまいります。

プロパティ事業についてはこちらから▶



▲ティーライフとLifeitの出荷を担う袋井センター



自動封函機▶
(段ボール箱へ自動でテープ貼りし、送り状を付ける)



持続的成長に向けた取り組み



プーアル茶の共同研究を開始

静岡県内の大学とプーアル茶の機能性に関する共同研究をおこなっています。成分分析や動物実験を行い、様々なメカニズムを解析していくことを目的としています。研究の結果をもとに、お客様の健康をサポートできる合理的根拠を持った新商品の開発に繋げてまいります。



▲共同研究の様子



デジタルカタログ「茶んす」を創刊

紙の使用量半減を目指し、デジタル化・ペーパーレス化を推進しています。2022年1月には、通販カタログ、WEBサイト、アプリにプラスした新たな購入手段の一つとして、デジタルカタログ「茶んす」を創刊いたしました。その他、梱包資材なども含め、環境に配慮した販売活動を進めていきます。



▲デジタルカタログ「茶んす」最新号がご覧いただけます



ウィッグの修理メンテナンスを通じて持続可能なビジネスモデルを構築

当社がウィッグの販売活動を進めていく中で、ウィッグをお持ちのお客様には「買い替えよりも修理やメンテナンスをして使い続けたい」というニーズが多くあることに気付かされました。そこで新たにクリーニング店等と連携し、ウィッグの修理メンテナンスの受付を開始しております。メンテナンスの対象は、当社で購入した製品だけでなく、他社製品も可能で、お客様がご使用のウィッグを再生利用することができます。地球にもお財布にも優しい「ウィッグ修理メンテナンス」のビジネスモデルを構築し、新たなお客様を開拓していきます。



▲お手持ちのウィッグを再生利用

四半期連結財務諸表・その他のデータ

四半期連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

	2021年7月期 第2四半期 (自2020年8月1日 至2021年1月31日)	2022年7月期 第2四半期 (自2021年8月1日 至2022年1月31日)	増減率
売上高	5,612	6,421	14.4%
売上原価	2,930	3,802	29.8%
売上総利益	2,682	2,618	△ 2.4%
販売費及び 一般管理費	2,222	2,122	△ 4.5%
営業利益	459	496	7.9%
経常利益	468	499	6.7%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	385	357	△ 7.3%

四半期連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

	2021年7月期 期末 (2021年7月31日)	2022年7月期 第2四半期 (2022年1月31日現在)	増減率
流動資産	4,477	4,507	0.7%
固定資産	3,830	3,839	0.2%
資産合計	8,307	8,346	0.5%
流動負債	1,639	1,564	-4.6%
固定負債	1,207	1,095	-9.3%
負債合計	2,846	2,659	-6.6%
純資産合計	5,460	5,686	4.1%

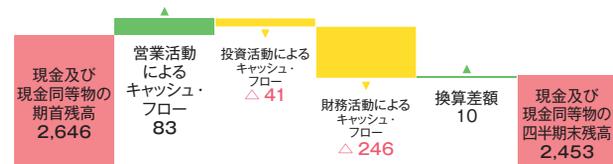
その他の指標

	2021年7月期 第2四半期 (2021年1月31日現在)	2022年7月期 第2四半期 (2022年1月31日現在)
1株当たり四半期 純利益(円)	90.74	84.13
1株当たり純資産(円)	1230.80	1,338.11
自己資本比率(%)	66.4	68.1

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

2022年7月期第2四半期(自2021年8月1日 至2022年1月31日)



詳しくは当社IRサイトをご覧ください。 <https://www.tealifeir.com/>

ティーライフ

検索

決算資料・決算説明会の様子をご覧ください。



株式の状況

(2022年1月31日現在)

●株式の状況

発行可能株式総数 ————— 14,000,000 株
 発行済株式の総数 ————— 4,249,841 株(自己株式159株除く)
 株主数 ————— 6,535 名

●所有者別分布状況



●大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社N&K	1,416,700	33.33
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	317,200	7.46
植田 佳代子	125,000	2.94
山田 壽雄	98,000	2.30
ティーライフ従業員持株会	74,050	1.74
浅井 伸祐	70,400	1.65
植田 翔子	70,000	1.64
植田 元気	70,000	1.64
若杉 精三郎	60,000	1.41
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	56,000	1.31

会社情報

● 会社概要 (2022年1月31日現在)

商号	ティーライフ株式会社
設立	1983年8月
本社所在地	静岡県島田市牛尾118番地
資本金	356百万円
事業内容	健康茶、健康食品、化粧品等の通信販売
URL	https://www.tealifeir.com/ 【IRサイト】 https://www.tealife.co.jp/ 【ECサイト】
主な連結グループ	株式会社アベックス(生活雑貨等の卸売) 株式会社ダイカイ(生活雑貨等の卸売) 株式会社Lifeit(家具等の通信販売) 特萊芙(上海)貿易有限公司(健康茶等の通信販売)

● 役員一覧 (2022年1月31日現在)

役名	氏名
代表取締役会長	植田 伸司
代表取締役社長	西上 節也
取締役	伊藤 和也
取締役	石澤 浩和
取締役	児島 正雄
取締役(常勤監査等委員)	岡村 朗
社外取締役(監査等委員)	小川 幸伸
社外取締役(監査等委員)	苗村 博子

● 株主メモ

事業年度	毎年8月1日から翌年7月31日まで
定時株主総会	毎事業年度終了後3か月以内
基準日	期末 7月31日 / 中間 1月31日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部
証券コード	3172

● 配当金

	第36期 2019年7月期	第37期 2020年7月期	第38期 2021年7月期	第39期 2022年7月期
普通配当(中間)	10円	10円	20円	26円
普通配当(期末)	10円	20円	31円	26円 (予定)
計	20円	30円	51円	52円 (予定)
連結配当性向	35.1%	30.3%	30.8%	31.2% (予定)

● 株式事務手続きに関するお問い合わせ先

証券会社等の口座に株式が記録されている株主様

- ・住所変更、名義変更等
- ・配当金の受け取り方法の指定、変更
- ・単元未満株式の買取・買増請求
- ・マイナンバーの届出

口座を開設されている
証券会社

- ・未払配当金の照会、支払い
- ・郵送物等の発送と返戻に関する照会

三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座に株式が記録されている株主様

- ・マイナンバーの届出
- ・各種お手続き等

三菱UFJ信託銀行株式会社

※特別口座に株式が記録されている株主様は、証券会社に口座を開設し、株式をお振替えくださいますようお願いいたします。

● 株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをご提出いただく必要がございます。

ご提出のお手続きについては、上記「株式事務手続きに関するお問い合わせ先」へお尋ねください。

株式関係業務のマイナンバーの利用目的

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。